

# 長畝ふるさと通信



【2024年6月号】

## ■ 今年もか・・・？



昨年は13日に梅雨入りしましたが、ほとんど雨が降らず空梅雨でその後も高温続きで収穫に大打撃を受けました。田んぼの脇に咲いている「tachiaoi」は梅雨入り頃花が咲き始め、一番上まで花が咲くと梅雨が明けると言われていますが、今年の梅雨入りは昨年よりも10日も遅い6月23日で、この時点でtachiaoiの花は一番上まで咲きそうになっています。今年の梅雨もあつという間に開けてしまい、深刻な水不足となるのではないのでしょうか。夏には「ラニーニャ現象」が出現して地球の赤道上是酷暑となる予報も出ているようです。新潟県で取り組んでいる高温耐性品種が取り扱えるのはあと4～5年はかか見込みで、地球温暖化はそれまで待つはくれないようです。

用水の届かない田んぼは田面に大きなヒビが入り、苗の生育も進んでいません。限られた水資源を有効に活用する為、全体の水管理に追われる毎日です。皆さん、雨乞いお願いします。



## ■ 東京農大実習

6月10日から15日まで東京農大の実習生を3名受け入れました。お天気にも恵まれ毎日溝切や草刈、無農薬田んぼの除草作業などみっちりとお働いていただきました。体育会系の彼らも暑さもあっていささかバテ気味ではありましたが、農業を楽しんでくれたようです。今年の実習生は総勢16名で各農家に分散して実習を体験したのですが、最終日の打ち上げの際に「金山や佐渡観光に連れて行ってもらいました」「毎日の昼寝が癒しになりました」などと楽しかった思い出話が続々と噴出し、我が社だけが鬼のように働かしたような雰囲気となりました。個人農家と組織の差があるとはいえ、実習の質に問題ありだなと感じています。幸い、うちに来た学生たちは毎晩酒を



(上) 学生たちに溝切の指導をする金髪先輩

(右) 無農薬田んぼの除草作業で田んぼに足を取られ苦戦する学生たち

呑ませて接待していたので不満は出ませんが、来年以降、我が社を希望する学生がいなくなるかと心配です。



## ■ 令和のコメ騒動

令和のコメ騒動が勃発しています。5年産米の不作と品質低下に加えて、外国人観光客などインバウンドの激増でコメ不足が起っています。これまで安かったB銘柄米や業務用米の供給が追いつかず、高いコメと同等の価格帯まで跳ね上がっているそうで、お米屋さんにもその卸価格を聞くと信じられない単価となっていますが、生産者には還元されてはいないようで、中間卸が丸儲けする構図となっているようです。テレビではカルローズなどの輸入米まで取り扱う業者が増えているとの報道もあり、まさに「令和のコメ騒動」です。6年産米が前年同様の作柄となれば、騒動は益々過熱し、コメ市場は大混乱に陥るのではないのでしょうか。

政府肝いりの「定額減税」も我々庶民には恩恵の実感もなく、あらゆるものの価格が上がり続けています。気候が悪いのか政治が悪いのか国民生活は困窮するばかり…

一体どうなるんでしょうね。

おかわりも自由でなくなるかも…

(右) 早期溝切で水供給を工夫しています。やれることは全てやるべし！

